

# (6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

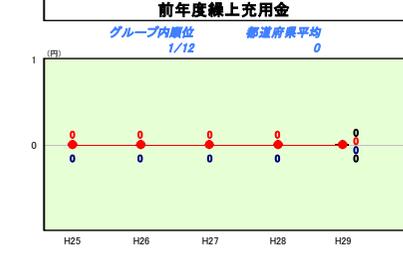
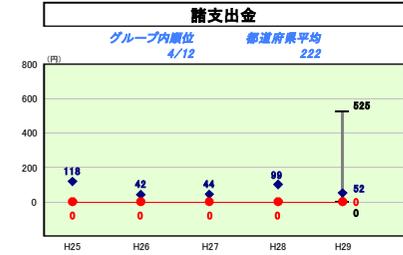
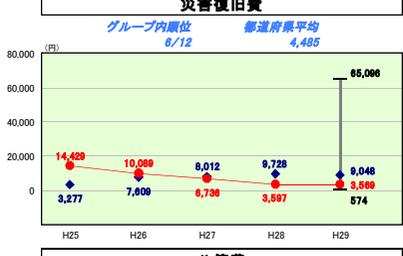
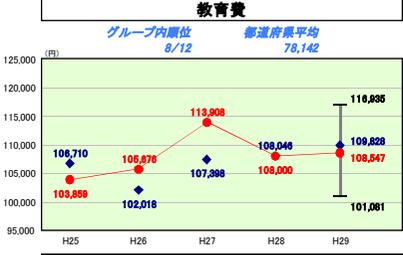
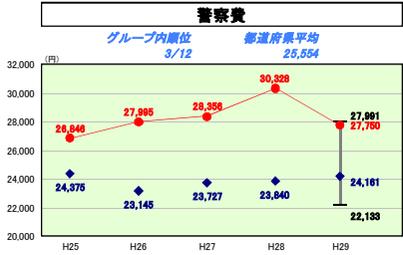
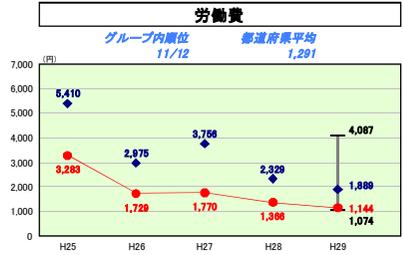
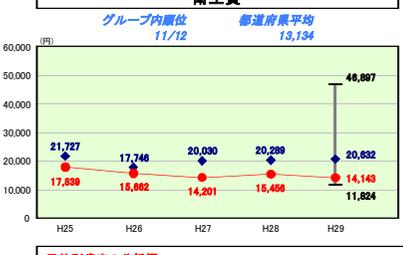
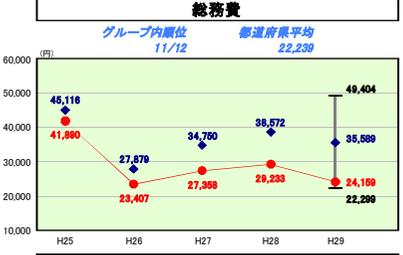
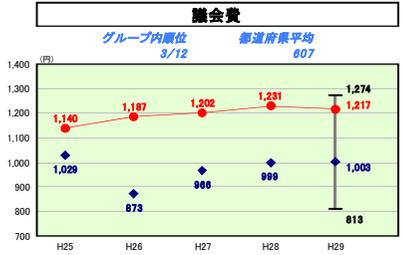
平成29年度

和歌山県

人	口	976,074 人(H30.1.1現在)	実	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	968,748 人(H30.1.1現在)	実	通	通	実	赤	字	比	率	-
面積	4,724.64 km <sup>2</sup>	実	公	公	債	費	比	率	8.7	%
歳入総額	532,338,483 千円	実	未	未	負	担	比	率	196.0	%
歳出総額	518,621,711 千円	グ	ル	ー	プ				H25	E
実収支差	5,873,728 千円								H26	D
標準財政規模	295,831,391 千円	(	年	度	毎	)	H28	D	H29	D
地方債現在高	1,023,752,020 千円								H27	D

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ⊥ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析**  
 平成29年度の住民一人当たりの総務費は、消防学校の建設完了等により5,074千円の減少、商工費は、中小企業融資制度貸付金の減少等により4,979千円の減少、土木費は、国補正予算に伴う公共事業の増加等により3,333千円の増加、警察費は、新宮警察庁舎の建設完了等により2,578千円の減少となっている。  
 今後、社会保障関係費や公債費の増加が見込まれる中、「和歌山県長期総合計画」に掲げる和歌山県がめざす将来像を実現していくため、平成29年3月に策定した「中期行財政経営プラン」に基づき、引き続き行財政改革に取り組んでいく。